

# 2023 関の 佐賀関の強く美しい ヤブツバキの花と素晴らしい景色を見にきませんか？ ヤブツバキ花まつり

豊予海峡に面し気候が温暖な佐賀関には、椿の原種「ヤブツバキ」が自生しています。2014年に行われた調査では、半島を囲むように樹齢百年以上の古木が無数に存在していることがわかりました。海風に強く過酷な環境の中でも、力強く生き続け、この佐賀関の地で黙って咲き続けるヤブツバキは、人々を励ます力が宿っています。

## 3月12日 日

もっと椿が好きになる！

### ヤブツバキ観賞散策

10:00 ▶ 14:00 頃

ヤブツバキの自生場所を、散策マップを見ながら、関埼灯台近隣の遊歩道を自由散策します。登録有形文化財になった「関埼灯台」も特別開放します！

集合場所

県道 635 号沿い  
関埼灯台近く 駐車場  
テントブースにて、散策マップ配布

無料  
自由参加

国登録記念物 登録申請中



ヒシャゴ岩



日本の渚百選

黒ヶ浜



黒ヶ浜は、沿岸のヒシャゴ岩とともに鑑賞されてきた名勝地です。黒ヶ浜を挟む岬の沿岸には岩礁が点綴（てんてい）していて、特にその南側に位置し、大小2つの岩塊からなるヒシャゴ岩は、沿岸航行の安全を見守る海女の黒砂（いさご）・真砂（まさご）の二神の伝承から姉妹岩とも呼ばれています。

登録有形文化財

### 関埼灯台



1901(明治34)年に初点灯した大分県で最古の灯台  
鉄造3階建、直径3.0m、高さ11m、建築面積39㎡  
登録年月日:2022.06.29 登録有形文化財(建造物)

佐賀関半島東端の地蔵崎に建つ灯台で、鉄造、高さ11m、円筒形の灯塔に扇形平面平屋建と付属舎が付く。厚さ6ミリの鉄板を曲面加工し、リベット止めする構造で灯塔上部にバルコニーを廻しドーム屋根の灯籠を載せている。瀬戸内海と太平洋をつなぐ豊予海峡を通過する船舶の航行に現在も重要な役割を果たしてきた。明治期の鉄造灯台の一つで2022年には「登録有形文化財(建造物)」に登録された。



主催：NPO さがのせきまちづくり協議会

お問い合わせ

道の駅 さがのせき TEL097-576-0770

協力：大分短期大学・語ろう！3つの輪実行委員会(道の駅佐賀関・日本風景街道 別府湾岸国東半島海への道推進協議会・道守大分会議)

# てくてくお散歩MAP

海星館から見る風景は  
日豊海岸国定公園  
豊後水道県立自然公園  
瀬戸内風景30選  
大分市100選に  
選ばれています。

灯台展望所

関崎地蔵

自生ヤブツバキの海岸林

関崎稲荷

ヤブツバキ自生地

海星館から  
灯台まで  
354m

植樹記念樹

海星館前

改修期間中は施設周辺への  
立ち入り・通り抜けでき  
ません



## 関崎灯台

明治34年～現役(現在LED)  
昭和45年まで有人灯台守の  
敷地跡があります。一般開  
放日のみ内部見学可  
初代使用していたレンズは  
海星館内に展示中。  
120年以上の歴史がある貴  
重な建造物として評価され、  
2022年、登録有形文化財  
(建造物)に登録された。

登録有形文化財  
関崎灯台

ヤブツバキ自生地

灯台からここまで  
82m

豊予要塞砲台跡

川中美幸 植樹記念樹

灯台から  
鳥居まで  
400m

## 関崎海星館

現在、改修工事中  
令和5年夏オープン予定

海星館 駐車場

## 関崎地蔵

養老年間、役小角により  
航海安全を祈願し祀られ  
た「波除地蔵」  
地蔵が見つめる先には荒  
波打ち付ける速吸の瀬戸  
がある。この地を地蔵崎  
とよぶことも



## 豊後水道・豊予海峡・速吸瀬戸

潮の流れ1日4回6時間毎に変わる 5~6ノット  
水道とは陸地が両側に迫って狭くなった通路状  
の箇所のこと(海に於いて)  
海峡や瀬戸もこれらの間に本質的な違いはなく  
同じ海域について複数の名称を有するものも  
ある(豊予海峡と豊後水道と速吸瀬戸)  
豊後水道は豊予海峡南側の海域を指す場合と  
して使われることもある

## 高島のウミネコ

無人島・高島では、毎年4月~7月に約  
5,000羽のウミネコが巣栄地として飛来し、  
周辺の海域を乱舞します

## 波舞の坪展望所

黒ヶ浜・ビシャゴ岩  
白ヶ浜方面へ

ヤブツバキ並木道

駐車場

県道635号

精錬所方面へ

海星館入り口

●案内表示板があります  
数字は、特に明記がない  
ものは案内板から  
案内板までのおおよその  
距離です

●見どころポイント  
●ヤブツバキポイント